

北九州市民の会ニュース



講演する渡辺さん

渡辺治氏が2時間超える熱い講演

10月12日(土)、憲法ネットが第21回総会と記念講演を開催しました。

憲法ネット20年の歩みをまとめたパンフレットが参加者全員にプレゼントされました。

荒牧座長の開会あいさつ。ついで、富士本事務局長が活動経過、活動提案、会計報告、役員人事

につき、一括報告し、承認されました。

渡辺氏は「軍拡、改憲の新段階にいかに関与するか?」の題名で「岸田時代に日米軍事同盟・戦争する国」づくりは新段階に突入した」「改憲と軍拡でアジアと日本の平和は実現するのか?」について記念講演をおこないました。

学校給食無償化を求める請願署名

傍聴席が満席になった北九州市議会
教育文化常任委員会での審議

北九州市議会教育文化委員会で審議

11月7日、北九州市議会の教育文化委員会で、学校給食無償化を求める請願署名(24033筆)について審議が行われました。

学校給食の無償化をめざす会を代表して口頭陳述した細川さんは、署名運動を通じて寄せられた保護者の思いや要望を紹介し、「安心・安全な給食を無償で」の訴えに、多くの共感が広がり2万3千を超える署名となっていると訴えました。

議員からは、実施を国に求めることや市として無償化への段階的な実施を求める意見などが相次ぎました。藤沢議員の請願署名に対する認識についての

質問に教育委員会の担当部長は「請願署名を重く受け止めている」と答弁。また、永井議員は「市長へ無償化の決断を教育委員会として迫っていただきたい」と強く要望して、請願は継続審査としました。

委員会を傍聴した方からは「7日の委員会を前に議員さんへの要請をしたことはよかった」「全議員が発言されて、無償化を否定する意見はなかった」「委員会の審議を通じて、教育委員会が無償化を否定する従来の答弁はなかった。できなくなったと思った」「一歩進んだと実感した、署名を取り組んで良かった」などの感想が述べられました。

市民の会主催
市民講座

『軍事基地化に反対、の運動強化へ』

日本共産党中央委員会基地対策委員会 小泉親司氏 講演



講演する小泉さん

11月9日(土)「平和とくらしを守る北九州市民の会」は、九州・沖縄における軍事化の実態と背景を学ぼうと、第16回市民講座をひらきました。講師は日本共産党中央委員会基地対策委員会責任者の小泉親司氏。

小泉氏は、核攻撃を想定した沖縄南西諸島でのミサイル配備や、民間の土地、施設を利用したの避難訓練の実態を解説。集団的自衛権や、5年間で43兆円の大軍拡で財源が全く示されていない問題点をあげ、草の根から反対の世論をつくっていくこと、ASEAN(東南アジア諸国連合)での取り組みに学んでいくことを呼びかけました。

また、行橋市の徳永克子市議が、航空自衛隊築城基地の問題を報告。米軍による司令の下で訓練が強化している現状を訴えました。

参加者からは質問、意見が活発に交わされました。小泉氏は、大軍拡反対のたたかいで「国民生活からの観点で訴えていく必要がある」と強調しました。

お知らせ

北九社保協通信

報告・資料集 2024年10月号
10月31日 事務局発行

学校給食無償化へ 市議会に「22,675筆」の署名を提出！



9月26日(木)に50名近くの参加者が集い、北九州市議会において「学校給食無償化署名の議会お渡し会」が行われました。この間、当北九社保協も無償化をめざす会に結集して署名活動等に取り組んできました。当日は市内7区から寄せられた署名「22,675筆」を市議会事務局へと手渡しました。目標の5万筆には届きませんでしたが、各区の代表者より市民の切実な声として短期間でこれだけの署名を集めることができた旺盛な活動報告がありました。署名提出にあたり市議会各会派へ紹介議員要請をおこなっていましたが残念ながら、快諾頂けたのは日本共産党市議団8名と一人会派の2名だけでした。秘書を通じて断りを言ってきた会派もありましたが、「会派としては調整がつかなかった」とは教育文化委員会に所属しており、賛成の立場として応援したい」と会場に出向き挨拶をした議員の方もいました。今回は年明けに市議会選挙がある関係で「継続審議」とならず、9月議会閉会後の委員会に付託されます。まずは委員会での採択をめざして引き続き、署名の積み上げに奮闘しようとして最後に参加全者員で意思統一を行いました。



「補聴器購入助成」陳情審査で 市議会保健福祉委員会傍聴支援

10月24日(木)に北九州市議会の保健福祉委員会が開催され、補聴器購入助成の陳情審査があり傍聴支援参加をしました。補聴器購入助成については、学校給食無償化と同時に求める会と各区民の会できり組んできました。9月末に27の団体署名と10,632筆の個人署名を市議会へ提出しました。陳情審査当日は補聴器購入助成を求める会発起人代表と賛同団体の一つである健和会から陳情を行いました。今回、健和会は耳鼻科の先生から補聴器の必要性について医学的な見解や市内病院の団体署名集約に積極的に関わってきました。陳情をうけ担当部局から「難聴高齢者と認知症との相関関係は承認しているが、補聴器装着と認知症改善の因果関係のエビデンスがはっきりしていない。国が調査を行っており急ぐ様、求めている。また、すでに助成を行っている政令市の例を本市に当てはめると約5億の予算が必要。よって現在のところ独自の助成は考えていない」との見解説明があり、議員から「補聴器購入助成について今回、市民の切実な要望として1万筆を超える署名が集まっている。現在、全国でも298の自治体が行っている。本市と同じ政令市でもどんどん広がっている。高齢者率が高い本市としても率先して市民の声に応えるべきでは」「聞こえないという事はコミュニケーションの障害と認知症とのリスクも言われている。補聴器が高いので購入を躊躇しているという話を聞く。対象者を絞るなど限定的でも一歩、前に踏み出せばどうか」といった意見が出されました。委員会としては継続審議となり、12月の本会議に提出するかどうかの審議をあらためて行う事となりました。委員会後、求める会より引き続きの署名積み上げや宣伝行動の継続について提起があり確認を行いました。

想いのこもった署名を議会へ
その数、22936筆！

9月26日、市議会議会議場にて、集めてきた署名を提出する「議会にお渡し会」が開催されました。50人ほどが集まり、熱気あふむんの会場で各区や団体から集まった署名の集約作業と、各会派の担当者を迎えて、紹介議員の承諾の可否を伺っていきました。(10月7日更新)

紹介議員になった会派

日本共産党(8人全員)

村上さとこ ◎ 井上しんご

✕ 自民党・無所属の会、公明党、ハートフル、

✕ 変革と未来、維新の会、本田一郎



↑当日は議会中にも関わらず、共産党と維新の会の議員さんが駆けつけてくれました。

子どもたちから『無料になる？がんばって！』の声に励まされて頑張ってきた。『暑い中でもみんな頑張ってきた。』『学童や知り合いがあまりに署名を上げてくれたんです。』お渡し会では、各区や団体から頑張ってきてくれた経験や思いが語られました。署名を見て、1人ひとりと対話したことを思い出し、涙する参加者も。



↑毎日新聞やしんぶん赤旗に掲載されました。

署名には力がある！12月議会まで署名を集めよう！

昨年7月の学習会後に発足した学校給食の無償化をめざす会。9月に署名活動をスタートさせ1年。区ごとの活動を発展させ、各地で給食カフェや署名宣伝、映画上映会、議員アンケート等、多彩にとりくんできました。署名を集めてきた私たちは「無償化を求める声は多数」との確信があります。そして、「署名には力がある」とことを実感してきました。紹介議員にならなかった議員も、議会や学校給食の問題を取りあぐさるを得る状況に、むぎの会や議員不足から給食提供が危ぶまれた際は、会として教育委員会に繰り返し要請。NHKにも報道し教育委員会が「迷宮をおかしている」と謝罪。何年にも渡り、鉄サビが水道から出ている問題は会メンバーへの情報提供で公に。議会論議を経て全市で25校も同様のケースがあることを明らかにして改修へ進みました。全国の運動と連帯したとりくみはこの北九州市で確か広がってきたのです。署名は12月まで積み上げられます。もう1ふんばり！議会が無償化をせざるを得ない状況をご一緒につくみましょう！「たたかいはここから。たたかいは今から！」

署名用紙が必要な方はご連絡ください。LINE 公式から、引き続き情報発信、トークで情報共有していきます。 学校給食の無償化をめざす会

